



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

持続可能な農業と
豊かであらうしやすい
地域社会の実現を目指す



新年明けましておめでとうございます。
います。

組合員並びに日頃より当JAを御利用頂いております皆様は、新年は明るく健康で営農に取り組める年でありませう願っております。

さて昨年を振り返ってみますと、春先は雪どけも早く、水田の耕起や田植え等は平年に比べて早く進みました。一方、夏場にあつては日照不足等により、水稻の生育や畑作物の管理に大変苦労しました。が、営農指導の徹底と農家の努力

で克服した年でありました。収穫の秋は天候に恵まれ、米・ねぎ・大豆の収穫、ウド、アスパラの掘り起こしも順調に終えることが出来ました。

平成26年度の稲作については、田植期から出穂期まで天候に恵まれ、その後も、比較的气象災害が少なく東北農政局が発表した県の作況指数は「104」、管内も「104」となり平均収量は596kg/10a(9.俵)で平年を上回る作柄となりました。集荷数量は268,225.5俵(平成26年12月12日)で、契約数量263,889俵に対し101.6%の実績となりました。また、品質面では未熟粒が目立ち、局地的なカメムシによる斑点米の被害があったものの、一等米比率は95.1%となりました。カントリーエレベーターは稼働3年目を迎え、組合員の高齢化や農業機械の更新時期などの関係から利用者も増えており、稼働率は92.4%と順調に増加しております。

一方、青果物については、昨年度立ち上げました、「白神ねぎ」10億円販売達成プロジェクトにおいて、「白神ねぎ」のポスター、のぼり、絆纏等を作成するなど、市場や消費者の目に直接「白神ねぎ」という文字を焼き付け、ブランド

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長

佐藤 謙 悦

代表理事専務

佐原 操

常務理事

小林 義 昌

理事

大塚 公 隆

理事

小川 繁

理事

佐藤 静 子

理事

金谷 隆 夫

理事

工藤 巖

理事

中川 正 一

理事

永塚 誠 司